

企業版ふるさと納税 寄附対象事業のご紹介

V.202512





寄附対象事業

► 「仙台市地方創生総合戦略」で位置付けられる事業

仙台市地方創生総合戦略が掲げる5つの基本目標

1. 魅力ある「しごと」づくり

地域経済の中心である中小企業の活性化やイノベーション創出を通じて、魅力ある「しごと」をつくります

2. 新たな「ひと」の流れづくり

地域の魅力発信による交流人口の拡大・若者の地元定着や、域内外からの投資の誘引をはかります

3. 子育てを楽しめる社会の実現

希望する方が安心して結婚、出産でき、子育てを楽しめる社会の実現に取り組みます

4. 持続可能でしなやかな「まち」づくり

豊かな自然環境と防災・減災への取り組みが調和した、防災環境都市づくりを推進します

5. 地域特性に合わせた多様な主体が活躍できる社会づくり

杜の都の個性を活かし、誰もが安心して暮らし、学び、思い思いに活躍できるまちづくりを進めます



本資料でご紹介する事業

はじめに

1. 魅力ある「しごと」づくり

- P 3 | 地域中核企業輩出支援パッケージ
- P 4 | 農業イノベーション
- P 4 | 農食ビジネスの推進
- P 5 | 起業家・スタートアップ支援
- P 6 | 成長産業振興事業

2. 新たな「ひと」の流れづくり

- P 7 | 3 GeV高輝度放射光施設NanoTerasu関連産業振興事業
- P 8 | 若者の仙台への定着促進「仙台で働きたい！プロジェクト」
- P 9 | 国内外からの誘客・滞在の促進
- P 10 | 杜の都・仙台のまつり支援
- P 11 | 音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設整備
- P 12 | まちなかウォーカブル推進事業
- P 13 | 八木山動物公園魅力アップ事業
- P 14 | 文化財の継承・普及啓発事業
- P 15 | 国指定史跡 仙台城跡 大手門の復元

3. 子育てを楽しめる社会の実現

- P 16 | 公益財団法人仙台こども財団の取組
- P 17 | 子育て応援の気運醸成事業
- P 17 | 子どもの遊びの環境充実事業
- P 18 | 妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援事業
- P 19 | 仙台自分づくり教育推進事業
- P 19 | ICT教育推進

4. 持続可能でしなやかな「まち」づくり

- P 20 | 防災環境都市づくり推進事業
- P 21 | 震災メモリアル事業
- P 22 | 脱炭素都市づくり推進事業
- P 23 | ごみ減量・リサイクル推進事業
- P 24 | 東部地域みどりの再生事業
- P 25 | 緑の保全事業
- P 26 | 生物多様性保全推進事業
- P 27 | 公共交通利用促進事業
- P 28 | 地域交通運行確保・運行支援事業

5. 地域特性に合わせた 多様な主体が活躍できる社会づくり

- P 29 | 「Full Digitalの市役所」推進事業
- P 30 | P H R 利活用による健康づくりプロジェクト
「せんだい My Health Log」
- P 31 | ハナミドリ工事業
- P 32 | 文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進
- P 33 | ダイバーシティ推進事業



地域中核企業輩出支援パッケージ

魅力ある「しごと」づくり

- 仙台・東北の地域経済を牽引する「地域中核企業」の輩出を目指し、各企業の課題に応じた様々な施策により地元企業に対する重層的な支援を行います。



経済的インパクト

域内取引の増加や「外貨」の獲得
雇用の増加、賃金の引き上げ等



社会的インパクト

企業の存在やその企業での働き方
生み出す商品・サービス等が
本市の魅力につながること



地域に両方のインパクトを
もたらす企業



“地域中核企業”の輩出を目指す

取組内容（R7年度）

仙台「四方よし」企業制度



「売り手よし」「買い手よし」
「世間よし」「働き手よし」
な企業の取組みを後押し！

プロフェッショナル人材活用による 中小企業の課題解決支援



スキル・ノウハウを持つ外部人材とともに
経営課題の解決を目指す！

地域中核企業輩出集中支援

成長意欲ある市内企業を選定し、伴走支援を実施！



(R6選定企業5社のキックオフセレモニーの様子)

個人を活かし、はたらきがいを高め、組織を一層workさせる！

人材定着・組織開発 プログラム in 仙台市

～選ばれる組織になるために～



参加費用・無料
開催期間・7ヶ月
4月30日～次回会
※R6年間参加者の上長アンケート



人材定着・組織開発プログラム

経営層に対し人材定着の仕組みづくりや
組織開発スキルの習得を支援！

その他、様々な事業者支援施策を実施中

企業の皆様へのメッセージ

東北地方の急激な人口減少の中で、仙台・東北が今後も維持・発展していくためには、**地元企業の成長が不可欠です。**成長意欲ある地元企業を力強く後押しし、東北の地域経済活性化を実現するため、**ぜひ貴社のお力を貸しください！**



農業イノベーション・農食ビジネスの推進

魅力ある「しごと」づくり

4

- 産学官金連携のプロジェクトチームにより、収益性の高い水田輪作体系の構築、農作業の省力化・効率化を実現するスマート農業技術や環境負荷低減技術の実証を行います。
- ウェブサイト・SNSを活用した情報発信や生産地と消費地の近さを活かした取り組みにより地産地消を促進します。



市内東部地区と西部地区でモデル農地を設置し、栽培方法・作業体系、新たな栽培技術や作物の導入など、水田活用の可能性を探り、生産性・収益性の高い輪作体系を構築する「稼げる都市農業」に向けた取り組みを行っています。

企業の皆様へのメッセージ

昔、江戸を流通する米の3分の2は「仙台米」と言われ、江戸の食を支えていた仙台の農業。その伝統ある仙台の農業を未来につなげるため、イノベーションによる新しい農業や地産地消の取り組みと一緒に進めてみませんか？



生産地と消費地の近さを活かし、鮮度が重要な野菜をその日のうちに提供する「今朝採り枝豆」など農産物の付加価値向上の取り組みや、市内の飲食店で使用するマッチング、webサイト等での生産者の紹介など、地産地消につながる取り組みを行っています。



起業家・スタートアップ支援

魅力ある「しごと」づくり

- 起業や起業後の事業継続、成長を支援するとともに、次世代のスタートアップ人材の挑戦を支援し、社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続ける企業を連続的に生み出す環境を形成します。

起業・スタートアップの支援拠点・体制強化



仙台スタートアップスタジオ

ロールモデルとなるスタートアップの輩出



研究開発型スタートアップ育成



仙台市起業支援センター
(アシ☆スタ)

ロールモデル予備軍の発掘・育成



首都圏CXO候補人材／ベンチャーキャピタルとのマッチング

学生・若者のアントレプレナー・シップ醸成



仙台グローバルスタートアップキャンパス



海外スタートアップイベント出展

社会起業家育成・支援プログラム



オンラインコミュニティ形成



小中高生向け起業体験
ワークショップ

企業の皆様へのメッセージ

東日本大震災後、仙台・東北地域では「誰かのために」「地域のために」といった利他的マインドによる起業の動きが活発化しました。社会課題解決に挑戦する社会起業家の育成や事業の急成長を目指すスタートアップ企業の支援を通じて、仙台・東北から世界を変えるイノベーションの創出を目指しています。



成長産業振興事業

魅力ある「しごと」づくり

- 地域企業によるAI等の先端技術やデータ利活用による新事業創出支援、防災減災・健康福祉・農林水産業等の異分野との事業共創推進、事業創出を牽引する高度ICT人材の育成・確保に取り組み、付加価値の高いビジネスが持続的に生まれる環境を構築します。

AI・データ利活用の推進と人材育成



ビジネス創出ワークショップ



AI・データ活用新事業創出プログラム

防災減災・健康福祉等異分野との融合



防災ソリューションを創出する産学官連携プラットフォーム



Well-beingビジネスセミナー

実証実験を通じた開発・社会実装支援



全自動津波避難広報ドローンの実証・実装



オンライン診療導入に向けた電子聴診器の開発支援

IT人材の地域定着・UIJターン支援



仙台IT企業限定オンライン合同説明会



地域IT企業とUIJターン希望者のマッチング

企業の皆様へのメッセージ

仙台では、社会課題・産業課題・事業課題の解決をテクノロジーで実現するため、多くの地域企業や大学等の学術教育機関などが挑戦を続けています。社会人・学生・若者など、産学官の多様なプレイヤーが連携し、テクノロジーによる課題解決と経済成長を両立するイノベーションが生まれる地域を目指しています。



- 本市は「せんだい都心再構築プロジェクト」と東北大学の「サイエンスパーク」を柱として、国内外の大学・研究機関や企業の研究開発部門が集積し、新たな価値創造の場となるリサーチコンプレックスの形成を進めています。
- ここで様々な分野の企業関係者や学術研究者、学生などとの交流からイノベーションが生まれ、産業基盤の発展や研究開発の国際競争力向上に寄与しながら、新たな産業技術を世界に向けて発信していくことを目指し、研究機関・企業の立地促進やNanoTerasuの利活用促進等に取り組んでいます。

01 NanoTerasu



NanoTerasu（ナノテラス）は物質をナノレベルで観察できる最先端の研究施設で、令和6年4月より運用を開始しました。学術・産業分野での活用のみならず、社会課題の解決への貢献も期待されています。

02 Research Complex



特定エリアに研究開発施設を集積し、所属機関や専門分野の枠を超えた研究者同士の交流からイノベーションが次々と生まれる「リサーチコンプレックス」の形成を推進しており、企業が繰々と進出しています。

03 Support



2000時間枠でイノベーションが湧く
わくわくする未来へ♪



本市の利用時間を活用し「NanoTerasu シェアリング2000」制度により、様々な分野・規模の全国の企業がNanoTerasuでの測定に取り組んでいます。また、NanoTerasuでの測定事例創出事業（トライアルユース）も実施しています。

企業の皆様へのメッセージ

ナノテラスの産業利用促進はもとより、研究開発機施設の誘致や開設支援などのリサーチコンプレックス形成の取組を更に加速させるべく、是非、企業の皆様のお力添えのほどよろしくお願ひいたします。



「仙台で働きたい！プロジェクト」

新たな「ひと」の流れづくり

- 就職活動に臨む学生のみならず、低学年の学生も対象に、「地域企業を知り、仙台での就職を考える」機会となるイベント等を実施しています。
- また、就職・転職ポータルサイト『仙台で働きたい！』を運営し、1,500社以上の企業情報やイベント情報、仙台で働く若手社員のインタビュー記事等を発信しています。

マッチングイベント
「センダイシゴト博」少人数業界研究イベント
「センダイシゴト大学」地元大学等と連携した就業体験
「みやぎの就業体験プログラム」長期有給就業体験・インターン
シップ
「センダイシゴト体験」

仙台で働きたい!

NEWS
SEARCH
EVENT
TIMES
CITY
LINK
SCHOLARSHIP
INTERNSHIP
CAREER CONSULTING

① 仙台市 経済・経営お役立ちポータルサイト

SEARCH 企業検索

所在地
業種
企業をさがす

より詳細な条件で検索

update your Life Work Skills Network in Sendai

ポータルサイト「仙台で働きたい！」

企業の皆様へのメッセージ

本市では、学生や若者の首都圏への流出に危機感を持っています。仙台で働くことの魅力等を効果的にアピールすることで、多くの若者の仙台での活躍につなげたいと考えております。企業の皆様にもぜひお力添えいただけますと幸いです。



国内外からの誘客・滞在の促進

新たな「ひと」の流れづくり

- インバウンドを促進するために、東南アジア諸国を中心として市長等によるトップセールスや旅行博出展、海外メディア・旅行会社招請等のプロモーションを行っています。
- 交流人口の拡大を図るため、各種支援制度を活用したMICEの誘致や、MICE開催後の市内及び近隣地域への回遊促進の取組等を行っています。



市長によるトップセールスの様子

各種プロモーションを行い、仙台・東北の知名度向上や訪問意欲の喚起を目指しています。特に航空路線の維持・拡大は大きな誘客を見込めるため、仙台空港国際定期便の誘致活動にも力を入れています。



MICEの誘致・開催のための商談イベントの様子

大規模会議等のMICEの開催は、開催地に関係者が集い、人や情報のネットワークの構築や都市間競争力の向上につながるほか、本市の魅力を知っていただく絶好の機会です。国内・国外を対象に、誘致に取り組んでいます。

企業の皆様へのメッセージ

世界的な訪日旅行需要の増加に伴い、仙台市内における外国人宿泊者数も増加傾向にありますが、全国に占める東北のシェアは2%以下であり、東北・仙台の認知度向上に向けて引き続きプロモーションを行っていく必要があります。ぜひ、企業の皆さんにもお力添えいただけますと幸いです。



杜の都・仙台のまつり支援

新たな「ひと」の流れづくり

- 1年を通して開催されているさまざまなまつりやイベントは、仙台の各季節の風物詩として、多くの市民や観光客で賑わっています。
- これらのまつりやイベントの多くは、市民が中心となって創り上げ、多くのボランティアに支えられています。

12月 SENDAI
光のページェント
R 6 来場者：205万人



冬 春

5月 仙台・青葉まつり
R 6 来場者：93万人



10月 仙台みちのくYOSAKOIまつり
R 6 来場者：60万人



秋 夏



8月 仙台七夕花火祭
R 6 来場者：45万人



9月 定禅寺ストリートジャズフェスティバル
R 6 来場者：70万人

8月 仙台七夕まつり
R 6 来場者：203万人

企業の皆様へのメッセージ

各まつりやイベントの開催経費は、物価や人件費高騰等の影響で増加傾向となっており、開催規模の維持、事業継続、伝統の継承、さらなる魅力の向上などを支援していく必要があります。是非、企業の皆さんにもお力添えいただけますと幸いです。



拠点複合施設整備

新たな「ひと」の流れづくり

- 生の音の響きを重視した2,000席規模の大ホールを備え、仙台の文化芸術の総合拠点となる音楽ホールと、防災環境都市・仙台ならではの災害文化の創造拠点となる中心部震災メモリアル拠点の複合施設を、本市のアイデンティティを象徴的に示す場所である青葉山エリアに整備します。
- 両拠点が有機的に結びつき、仙台ならではの創造・発信を行っていくことにより、交流人口・関係人口の拡大などを通じて都市の発展に貢献し、未来をより豊かにする施設を目指します。



仙台国際音楽コンクール

仙台フィルハーモニー管弦楽団をレジデントオーケストラに位置づけ、仙台国際音楽コンクールの新たな会場となるなど、「楽都仙台」をさらに発展させる拠点となります。

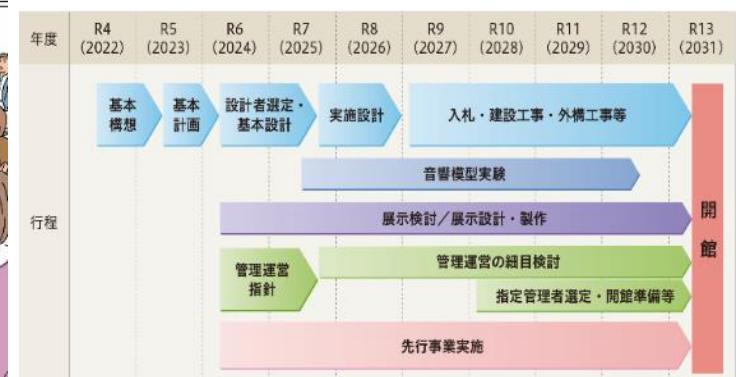


中心部震災メモリアル拠点の活動イメージ

多様な主体の参画・交流により、災害を知り・日常的に備え・発生した災害を乗り越えていく「災害文化」を創造し、社会に定着させていく拠点となります。



令和6年度に設計者を選定する公募型プロポーザルを実施し
(株)藤本壯介建築設計事務所を受注候補者に特定しました
※画像はプロポーザル時に同社より示された施設外観イメージ



整備スケジュール

令和13年度（2031年度）中の開館を目指し、
着実に整備を進めます。

企業の皆様へのメッセージ

本施設は、東日本大震災からの復興とさらなる発展のメッセージを打ち出し、仙台と世界をつなぐ存在となることを目指しています。杜の都の新たなシンボルとなる施設の整備に向け、ご支援をお願いいたします。



まちなかウォーカブル推進事業

新たな「ひと」の流れづくり

- 居心地がよく巡り歩きたくなる人を中心の都市空間の形成を推進する「まちなかウォーカブル推進事業」では、公共空間再整備（ハード）と民間主体による公共空間利活用への支援（ソフト）の両輪により、多様な人々の出会いや交流が生まれる都心を目指しています。



青葉通駅前エリアのあり方検討

仙台駅前ならではのにぎわいや新たな魅力を生み出すことで、交流人口の拡大や経済の活性化を図るとともに、他のエリアへと導く回遊性の向上、居心地がよく歩きたくなる歩行者空間を創出します。



定禅寺通再整備

シンボルであるケヤキ並木を継承しながら、人々が安全・快適に通行・滞在ができる「ひと中心の空間」を形成し、多様なアクティビティが生まれ、交流や賑わいの創出につながる環境づくりを行うため、車線削減を伴う再整備を実施します。



公共空間利活用支援

都心部の歩道等において、快適に滞在できる休憩や飲食スペースなどの設置等に取り組む団体に対し、事業実装に向けた社会実験の共催、各種制度活用に向けた支援等を行っています。

企業の皆様へのメッセージ

仙台市におけるウォーカブルなまちづくりに資する公共空間再整備、都心部のエリアの価値を高める空間利活用の取組みに関心のある企業様、ぜひご検討ください。

（青葉通駅前エリアのあり方検討担当）

：都市整備局 都心まちづくり課 Tel022-214-8314

（定禅寺通再整備担当）

：建設局 道路計画課 Tel022-214-8375、建設局 北道路建設課 Tel022-214-6154、

建設局 公園整備課 Tel022-214-5258

（公共空間利活用支援担当）

：都市整備局 都心まちづくり課 Tel022-214-8311



八木山動物公園魅力アップ事業

新たな「ひと」の流れづくり

- 八木山動物公園の施設長寿命化再整備計画に基づき、老朽化が著しい園内施設の長寿命化対策とともに、動物園の魅力アップのための再整備を行っています。
- 園としての満足度向上を図る取り組みとして、学習施設としての機能、希少動物の繁殖・導入、イベントの開催など一層の充実を図ります。



施設の長寿命化対策を進めながら施設更新のタイミングに合わせた再整備（環境生態展示の充実、行動展示の導入、屋内展示施設の新設など）を進め、動物園の魅力アップに取り組んでいます。



国内外の動物園や研究機関と連携し、希少種の繁殖や生息域内保全に取り組むことにより、種の保存に貢献しています。また、動物の命や生息環境について考える学習の場としての機能も強化しています。



多くの皆様に楽しんでいただけるよう、8月の夜間開園や、11月の八木山フェスタなど、年間を通じて様々な主催・共催イベントを充実させています。

企業の皆様へのメッセージ

1965年の開園以来、多くの皆様に愛され、年間約50万人のご利用をいただいております。また、おかげをもちまして令和7年に開園60周年を迎えました。これからも皆様に愛され続けるための、動物園ならではの取り組みにご期待とご支援をお願いいたします。



文化財の継承・普及啓発事業

新たな「ひと」の流れづくり

- 文化財は、我が国の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民共有の財産であり、仙台市の歴史文化等の正しい理解のためにも不可欠なものです。
- 本市では、文化財の指定・登録を通じた保護、発掘調査、修理や伝承者養成等への補助、史跡の公有化や整備、各種普及啓発事業など、文化財の保存と活用にかかる様々な取り組みを行っています。

民俗芸能を“未来に伝える”



ユネスコ無形文化遺産「秋保の田植踊」

市内には、ユネスコ無形文化遺産「秋保の田植踊」をはじめ、神楽や鹿踊、剣舞などの民俗芸能が数多く継承されてきましたが、少子高齢化等による後継者・担い手不足が深刻化しています。

本市では、民俗芸能のつどいや体験会などの民俗芸能に親しめる機会づくりや、保存会が相互に交流・連繋しながら保存・継承を目指す場づくりなどに取り組んでいます。

子どもたちの“ファンを作る”



出前授業の様子

市民が地域の歴史や文化に対する理解を深めたり、ふるさとの誇りと愛着を持てるよう、様々な普及啓発事業に取り組んでいます。

特に、次代を担う子ども達への理解促進に力を入れており、文化財課職員が講師として学校を訪問する出前授業、遺跡などの校外学習の受け入れや職場体験などに積極的に取り組んでいます。

企業の皆様へのメッセージ

文化財は、地域の誇りであり貴重な資源です。御寄附を通じて、地域文化の保護や観光振興に貢献いただけます。仙台の美しい文化財を私たちと一緒に、ともに未来へ残していきませんか？



国指定史跡 仙台城跡 大手門の復元

新たな「ひと」の流れづくり

- 仙台藩初代藩主・伊達政宗公が築いた仙台城。大手門はその正門として建造され、長年にわたって市民に親しまれてきました。昭和6年には脇櫓とともに国宝に指定されましたが、昭和20年に仙台空襲で焼失しました。
- 伊達政宗公の没後400年となる令和18年に向けて大手門復元事業が本格始動しました。
- かつての威容を取り戻し、地域の誇りを再生するとともに、歴史・文化教育、観光振興など幅広い活用が期待されます。



大手門イメージ

仙台城の大手門は、江戸時代を通じて仙台城の正門として使われ、藩主の出入りや特定の儀式の際にのみ開門される、格式ある特別な門でした。高さは約12.5メートルで、現代の建物に換算すると4階建てに相当する堂々たる規模を誇り、仙台城の象徴にふさわしい威容を備えていました。



史跡仙台城跡整備全体イメージ
※今後整備内容を変更する場合があります

仙台発祥の地である仙台城跡は、政宗をはじめとする歴代藩主が城下を見渡した場所であり、今も杜の都・仙台を見守り続けています。こうした歴史的背景を踏まえた本丸跡からの眺望と、自然環境と調和した城郭らしさを持つ市街地からの景観を“政宗ビュー”と象徴的に表現し、それらを史跡整備により実現することで、仙台城跡がより一層地域の誇りと愛着を育む場になることを目指します。

企業の皆様へのメッセージ

かつて市民から長年にわたり親しまれてきた仙台城大手門。再び市民の誇りとして復元し、仙台城の価値を後世に伝えていくため、ぜひ皆様のご支援をお願いします。



公益財団法人仙台こども財団の取組

子育てを楽しめる社会の実現

- 「まち全体がこども・子育て家庭にあたたかく、すべてのこどもたちが健やかに育つ社会」を目指して取り組みを進めています。
- こどもや若者が自ら考え、意見を言える機会、その提案を実現できる機会をつくり、社会の一員としての主体性や自己肯定感を育む活動に力を入れています。
- 地域のつながりの希薄化、少子化の進展により、こども・若者が地域コミュニティの中で育つことが難しくなっていることから、多世代交流を切り口に「子どもの居場所づくり」に取り組んでいます。



子どもの
「やってみたい！」
を応援

△ ご寄附の活用先
こども提案プロジェクト助成
こどもたちが企画・提案をした
「笑顔があふれるまちをつくるチャレンジ」へ助成します。
こども・どこでも居場所づくり助成
こどもや若者の居場所づくりとして、新たに多世代交流の促進に取り組む活動へ助成します。



こどもたちが
自分らしく安心して
過ごせる居場所づくり
を応援

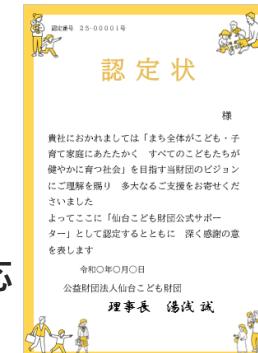
企業の皆様へのメッセージ

△ こどもたちが思い描く夢を一緒に応援しませんか？ △

ご支援いただいた企業の皆様は「仙台こども財団公式サポーター」に認定させていただき、ウェブサイトやSNS、主催イベント等でご紹介いたします！

（他、活動発表会におけるコメントーター参加のご招待等を予定）

企業版ふるさと納税を通じて、仙台のこどもたちのチャレンジや居場所づくりを応援してください！





子育て応援の気運醸成事業 子どもの遊びの環境充実事業

子育てを楽しめる社会の実現

- 「子育てが楽しいまち・仙台」の実現を目指し、まち全体で子どもと子育てを応援する気運の醸成を図るために、子育て家庭を応援する店舗・施設に関する情報発信や子育て応援イベント「みんなで子育てフェスタ」を開催しています。
- 子どもがさまざまな学びや遊び、交流などを通じて、豊かな人間性や社会性を身につけるとともに、その可能性を広げ、個性や能力を発揮できるよう、仙台市では多様な体験と活動の場、遊びの環境の充実に取り組んでいます。



子育て家庭にやさしい取り組みや子どもの遊び場の提供により子ども・子育てを応援する店舗・施設を「せんだいのひびきサポート」として募集し、せんだいのひびきナビを通じて子育て家庭に発信しています。



子ども・子育てを支える民間団体や企業等が出展するイベント「みんなで子育てフェスタ」を開催し、地域社会全体で応援していることを子育て家庭が実感できる機会を提供しています。



自由な遊びを引き出すプレーパークの普及に向けた支援や担い手の育成に取り組むとともに、既存資源を活用した子どもの遊び場を地域と連携しながら展開し、遊びの機会を提供しています。

企業の皆様へのメッセージ

「子育てが楽しいまち・仙台」を実現するため、まち全体で子どもと子育て家庭を応援する気運の醸成を図るとともに、子どもの健やかな成長を支える遊びの環境の充実にこれからも取り組んでまいります。是非、ご支援をお願いいたします。





妊娠・出産・子育て期にわたる 切れ目のない支援事業

子育てを楽しめる社会の実現

- すべての子育て家庭が孤立することなく、子育ての喜びを実感できるよう、母子保健等に関する様々な事業を充実させ、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を進めていきます。



妊娠に関する相談支援

妊娠には不安や心配がつきもの。専門職がご相談に応じるほか、各種教室等を実施し、出産や育児に臨むための支援をしています。



産後ケア

出産後は育児の仕方に悩んだり、疲れながったり… そんなときには産後ケア！専門職への相談や、心身のリフレッシュの機会をご提供しています。



乳幼児健診等

定期的な健診や個別相談のほか、就学前の発達相談を実施するなど、子どもの健やかな発育・発達を応援するため、切れ目のない支援を行っています。

企業の皆様へのメッセージ

子育て支援に関わる主体の輪を広げ、
官民連携による「子育てが楽しいまち・仙台」の実現を目指しています。





仙台自分づくり教育推進事業・ICT教育推進

子育てを楽しめる社会の実現

- 仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」は、児童生徒が自ら学ぶ意欲を持ち、人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育むことをねらいとしています。
- これからの社会をたくましく、しなやかに生き抜く力を育むためにICTを活用した教育を推進しています。



職場体験活動

平成21年度から市内すべての中学校で3日間以上の職場体験活動を実施しています。将来に向けて、人や社会との関わりを大切にしながら働くということを意識させ、生徒の勤労観・職業観、自立の力を育んでいます。



仙台子ども体験プラザ (スチューデントシティ)

「スチューデントシティ」は一つの街を形成しています。児童はここで、働くことと、働いて得た給料によってモノやサービスを購入する消費活動、税金を納めたり、街づくりについて考えたりする市民としての活動などを行います。



子どもの可能性を広げる 教育環境づくり

ICTの活用を通じた情報活用能力の育成や、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育む「仙台自分づくり教育」など、子どもの可能性を広げる教育環境づくりに取り組みます。

企業の皆様へのメッセージ

仙台自分づくり教育は、子どもたちが望ましい職業観や勤労観を学び、変化の激しい社会の中でたくましく生きる力を育む教育です。どの事業においても、事業所や地域の方からたくさんの協力をいただきながら、充実した活動を続けてます。未来の仙台市を担う子供たちのために、ご支援、ご協力いただけたら幸いです。



防災環境都市づくり推進事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

- 「杜の都」の豊かな環境を活かし、東日本大震災の経験を踏まえながら、災害や気候変動などの脅威にも備える、しなやかで強靭な都市「防災環境都市・仙台」を目指しています。



仙台防災未来フォーラムの開催

震災の経験や教訓を未来の防災につなげていくことを目的に、市民が防災を学び、日頃の活動を発信するイベントを開催しています。

市民団体や学生、企業等による復興や防災、環境配慮などの多様な取組みを、発表や展示を通じて市民の皆さんと共有する場となっています。



国内外への発信

東日本大震災を経験した都市、国際的な防災指針「仙台防災枠組」採択都市として、世界の防災・減災に貢献できるよう、国際会議への参加や海外からの視察受け入れ等を通じて、本市の取組みを世界に向けて発信しています。2027年には、国連防災機関（UNDRR）主催の「アジア太平洋防災閣僚級会議（APMCDRR）」が仙台市で開催されます。

企業の皆様へのメッセージ

本市では、安全・安心で持続可能なまちづくりを進めるとともに、「防災環境都市・仙台」として国内外から選ばれる都市となることを目指しています。防災は、国際的にも高いプレゼンスを発揮できる分野であり、市民や企業の皆様とともに取組み、発信してまいります。寄付を通じて応援いただけますと幸いです。



震災メモリアル事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり



「震災遺構仙台市立荒浜小学校」は被災当時のまま保存・公開。



「せんだい3.11メモリアル交流館」では、被災当時からの沿岸部の状況を写真で見ることができる。夏には沿岸部体験プログラムの実施も。

- 当事業では、過去に津波で大規模な被害を受けた「震災遺構仙台市立荒浜小学校」の保存・公開や、沿岸部地域への玄関口となる施設「せんだい3.11メモリアル交流館」の運営など、東日本大震災の経験と教訓を未来や世界へつなぐ取り組みを行っています。
- また、東日本大震災時の災害対応を経験した職員が減少していく中で、災害の経験を職員間で伝承し、今後起こりうる災害に備え、災害対応力に優れた組織風土を醸成するための取り組みを行っています。



職員間伝承事業では、当時を知る職員の経験をまとめた資料を作成。災害対応に関する研修等で活用されている。

企業の皆様へのメッセージ

本市では、東日本大震災での被災経験を教訓に、災害に強いまちづくりを目指し、各種事業を行っております。寄付を通じて応援いただけますと幸いです。



脱炭素都市づくり推進事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

- 脱炭素社会を実現するため、市民や事業者との協働により、温室効果ガス排出削減に取り組みます。



脱炭素先行地域づくり

定禅寺通等の3つのエリアにおいて、再エネ・省エネ技術を集中的に導入し、既存建築物の脱炭素リノベーションを行うなど、全国に展開できるモデルの創出を図る「脱炭素先行地域」の取り組みを推進します。



家庭向けの取り組み

家庭からの排出削減に向け、本市独自の断熱基準を満たす住宅の新築や断熱改修に対して補助を行うほか、住宅への太陽光パネルの導入支援や、市民の脱炭素行動を促進するキャンペーン等を展開します。



事業者向け・公共施設の取り組み

事業者と市が協働して排出削減を図る「温室効果ガス削減アクションプログラム」の推進や脱炭素セミナーの開催など、中小企業者の脱炭素経営を後押しします。また学校等のZEB化や防災型太陽光発電システムの運用を行います。

企業の皆様へのメッセージ

Think globally, Act locally!

本市では、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、国から選定された「脱炭素先行地域」の取り組みや、高断熱住宅の普及、中小企業者の脱炭素経営推進など、独自の施策を積極的に展開しています。
「杜の都」の良好な環境を未来に継承するため、皆さまのご支援をお願いいたします。



ごみ減量・リサイクル推進事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

仙台市では「“杜の都の資源”を次の世代へ、持続可能な資源循環都市をめざして」というビジョンのもと、市民・事業者の皆さまとの連携・協働により、生活ごみ及び事業ごみの減量・リサイクルの取組みを進め、資源循環都市づくりを推進していきます。



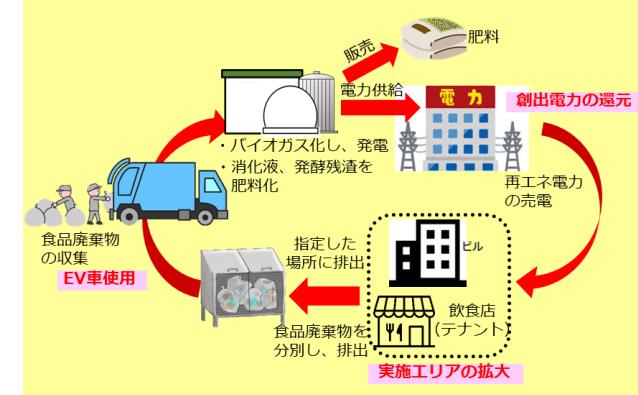
資源循環の「見える化」

資源循環を一層推進するため、企業との協働により、定禅寺通のケヤキの剪定枝と家庭から出されたプラスチック資源を混合してオリジナルタンブラーを製作するなど、市民にとって身近な製品へリサイクルする資源循環の「見える化」を推進していきます。



ごみ減量・資源循環の人づくり

使い捨てプラスチックごみの削減や、食品ロス削減等、ごみ減量・資源循環をテーマに企業・市民との協働による「エコフェスタ」等のイベント開催、各種企業と連携したキャンペーンを実施していきます。



企業の皆様へのメッセージ

喫緊の課題であるプラスチック資源循環をはじめ、資源循環都市づくりに向けた様々な取り組みを推進していくために皆さまのご協力をお願いいたします。



東部地域みどりの再生事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

- “杜の都”仙台の東部地域には防風・防砂のための藩政期以来の海岸林や憩いの場としての海岸公園とそのみどり、農村に暮らす方々の屋敷林・居久根など、私たちの暮らしに必要不可欠な多様なみどりがありました。が、2011年3月に発生した東日本大震災の津波により仙台東部地域のみどりは失われてしまいました。
- 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」は、これらの東部地域一帯のみどりを、市民ひとりひとりの「ふるさとの杜」と捉え、再生に取り組んでいくプロジェクトとして2014年からスタートしました。30年かけて植え育て、震災の教訓・記憶・復興の記録として、また、みどりの財産として様々な立場の人々の協働により次代につないでいく息の長い震災復興のメモリアル事業です。



企業との共同植樹会



企業との育樹会



小学生との苗木づくり

企業の皆様へのメッセージ

「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」では、これまで3,500人以上の参加を得て、2万7500本以上を植樹してきました。今後は植えた木を大きく育てる「育樹」を行いながら、プロジェクトを広め、杜づくりを通して震災の記憶と復興の過程を後世に伝えていくために、未来を担う子どもたちと進めます。また、ふるさとの杜を活用した環境学習や自然体験活動を通して、より豊かな暮らしと憩いを目指します。「ふるさとの杜」は「あなたの杜」です。一緒に東部地域のみどりの再生に取り組みませんか？



緑の保全事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

- 本市では、昭和48年3月に「杜の都の環境をつくる条例」を制定（平成18年6月改正）し、自然との調和ある環境の創造と杜の都の伝統ある風土を未来に発展させることを目指し、市街地の貴重な緑地を保全してきました。
- 「杜の都の環境をつくる条例」に基づき地域の美観風致上優れている樹木を保存樹木、保存樹林として、また、残された民有地の緑を主体に土地所有者の理解と協力を得て保存緑地を指定しています。管理はそれぞれの所有者が行うこととしていますが、保全に係る経費の負担軽減対策として、指定交付金等の交付や各種市税の軽減、資材援助等を行っています。

※令和6年4月1日時点の指定状況：保存樹木176件（181本）、保存樹林19件 保存緑地40箇所（643.38ha）



保存樹木：秋保野尻のいちい・さくら
(H18.12.12 R2.8.25指定)



保存樹林：泉区上谷刈
(R1.12.26指定)



保存緑地：旗立保存緑地
(S50.6.5指定)



青葉山や広瀬川などの自然のみどり、社寺林や屋敷林などの文化的なみどり、市民の力で守り育んできた市街地を囲むみどり、そして、杜の都の代名詞となった風格ある街路樹など、仙台市にはこのまちならではの誇るべきみどりがあります。これらのみどりの保全と利活用にご支援ください。

担当：建設局 百年の杜推進課 TEL022-214-8392



生物多様性保全推進事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり



本市では、水源涵養や食料確保、災害防止など人の暮らしに欠かせない、杜の都・仙台の豊かな生物多様性を保全するため、自然や生きものに対する理解や関心を深めるイベント等を実施とともに、多様な主体による保全活動を支援しています。



生きもの観察会などのイベント開催

仙台にゆかりのあるカジカガエル等の生きものの観察会や、ビオトープ田んぼの田植えと組み合わせて東日本大震災後の生態系再生を学ぶイベントなど、自然や生き物と直接ふれあい、生き物の魅力や大切さについて学ぶ企画の充実を図ります。

生物多様性を保全する活動の支援

「企業等による生物多様性を保全する活動」を国が認定する制度が始まりました。本市ではこの認定取得を目指す団体等を支援しています。認定後にはSNSやイベント開催等を通じて、認定地をPRしていきます。
認定取得を目指す企業様も募集しておりますのでぜひお問合せください！

「杜の都」である本市の豊かな自然環境や生物多様性が大切に保存され、その恵みが将来に継承されるよう、皆さまのご支援をお待ちしております。

企業の皆様へのメッセージ



WebやSNSを活用した情報発信

仙台に生息・生育する生きものの魅力を発信する動画や記事の配信、音源ダウンロードや生息地マップの掲載、認定取得地の取り組み等を、仙台市環境局公式Instagramやせんだい環境Webサイトたまきさん等を活用して発信します。





公共交通利用促進事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

- 持続可能な公共交通ネットワークを構築するため、市民や事業者とともに、公共交通の利便性向上や利用促進等に取り組んでいます。



学生の移動支援と公共交通の利用促進を図ることはもとより、若年層に公共交通の便利さを知ってもらい、持続可能な公共交通ネットワークの構築にもつなげるため、宮城交通と仙台市交通局の路線バスが乗り放題となる通学定期券「せんだいバスFREE+」を導入しています。

通学に加えてアルバイトや買い物などでも利用でき、乗車・降車停留所のどちらかが仙台市内であれば、市外から市内、市内から市外の移動も乗り放題となる制度となっています。



公共交通の利用方法や利便性への理解を深めるPRイベントとして、本市や国、鉄道事業者、バス事業者、NPO法人など、多様な主体による展示・体験ブースを楽しめる「交通フェスタ」を平成24年より毎年開催し、こども連れを中心とした多くの市民にご参加いただいています。また、バスをもっと身近に感じてもらい、バスへの関心を高めるため、市内の小学生を対象に、夢にあふれたバスの絵を自由な発想で描いてもらう「バスの絵コンテスト」を開催しています。

企業の皆様へのメッセージ

鉄道やバスなどの公共交通は、通勤・通学・通院などの日常生活に必要不可欠な移動手段であるとともに、経済や観光、福祉などの多様な都市活動を支える重要なインフラです。人口減少や高齢化が進む中、持続可能なサービスの確保に向けた、公共交通の利便性向上や利用促進の取り組みへの後押しをお願いいたします。

担当：都市整備局 公共交通推進課 TEL022-214-8353



地域交通運行確保・運行支援事業

持続可能でしなやかな「まち」づくり

- 公共交通のサービスレベルが低い地域等において、通勤・通学・通院・買物等、市民の日常生活に必要不可欠な移動手段の確保に向け、地域住民が中心となった取り組みを支援しています。



地域の実情に見合った交通となるよう
に、地域住民が主体となり、運行事業者・仙台市と三者協働により、仙台市
が派遣する専門家の助言を受けながら、
地域課題の把握や地域の合意形成、運
行計画など、丁寧に検討を進めます。



地域の検討組織は、引き続き専門家
の助言を受けながら、具体的な運行
ルートや停留所、運行ダイヤ、運賃
などの運行計画を検討し、試験運行、
実証運行を行い持続可能性を検証し
ます。



実証運行で地域交通の効率性や持続
性などが確認できれば、本格運行へ
と至ります。
地域の検討組織で継続的に収支状況
を確認して利用促進の取り組みを実
施し、必要に応じて運行計画の見直
しを行います。

企業の皆様へのメッセージ

公共交通のサービスレベルが低い地域にお住まいの方々にとって、生活に欠かすことのできない移動手段の確保は大きな課題です。持続可能な地域の移動手段の確保に向けた、地域の皆様が主体となった取り組みへの後押しをお願いいたします。

担当：都市整備局 地域交通推進課 TEL022-214-8495



「Full Digitalの市役所」推進事業

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

- 「ひと」を中心に据え、デジタル化によって利便性を高めながら、暮らしやすさの実現や新たな価値の創出につなげる「Full Digitalの市役所」の実現を目指します。
- 令和8年度までを「集中改革期間」とし、市民と市役所との接点の変革、市役所内部のDXを推進します。また、令和12年度までを「高度化期間」とし、多分野にわたるサービスの変革を実行します。



SENDAIポータル

より快適に暮らせるまちづくりを目指すため、一人一人に合ったお知らせを発信し、気象情報や災害情報を速やかに発信するサービスです。マイページを作成すると、オンライン手続きやデジタル郵便受けなど、新たなサービスや機能が活用できます。

企業の皆様へのメッセージ

仙台市はデジタル技術の活用により、サービスの在り方を見直し、利便性を向上させ、業務の効率化・集約化を進めることで、「ひと」と「近く・濃く」ふれあうことのできる市役所へと変革します。

「Full Digitalの市役所」の実現により、本市にかかる全ての「ひと」の豊かな暮らし・活躍を支え、その幸せに繋げる本市の取り組みを、企業の皆様に応援していただけますと幸いです。



「せんだい My Health Log」

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

- 本市では、健康寿命の延伸を目指し取り組んでおりますが、メタボリックシンドローム該当者・予備群が多い状況が続いていることからも、市民一人ひとりの健康状態の改善には、個人の健康状態やライフスタイル等に合わせた健康づくりにつながるサービスが必要です。
- そこでPHR（※）を活用し、市民の皆様が、楽しく健康づくりを実践できるようPHR利活用による健康づくりプロジェクト「せんだい My Health Log」を実施しております。



本プロジェクトは、市民が健診結果や歩数、食事記録などのパーソナルヘルスレコードを管理できるアプリ等を活用し、健康情報の取得・見える化等や個人に合わせた健康づくりに関するレコメンド等により、「楽しく」「誰でも」「手軽に」健康づくりに取り組めるような仕組み・仕掛けづくりを目指します。

※ PHR（パーソナル・ヘルス・レコード）とは、Personal Health Recordの頭文字をとった略語で、個人の健康・医療・介護に関する情報。個人の健康・医療・介護に関する情報を一人ひとりが自分自身で時系列的に管理・活用することによって、自己の健康状態に合った優良なサービスの提供を受けることができることを目指すとされています。（参考：公益財団法人長寿科学振興財団 長寿科学ネット）

企業の皆様へのメッセージ

生活習慣病の予防が社会課題となっている今、一人ひとりの心身の健康は、都市としての活力・魅力、地域発展にもつながると考えており、賛同いただける企業の皆様からのご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。



ハナミドリ工事業

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

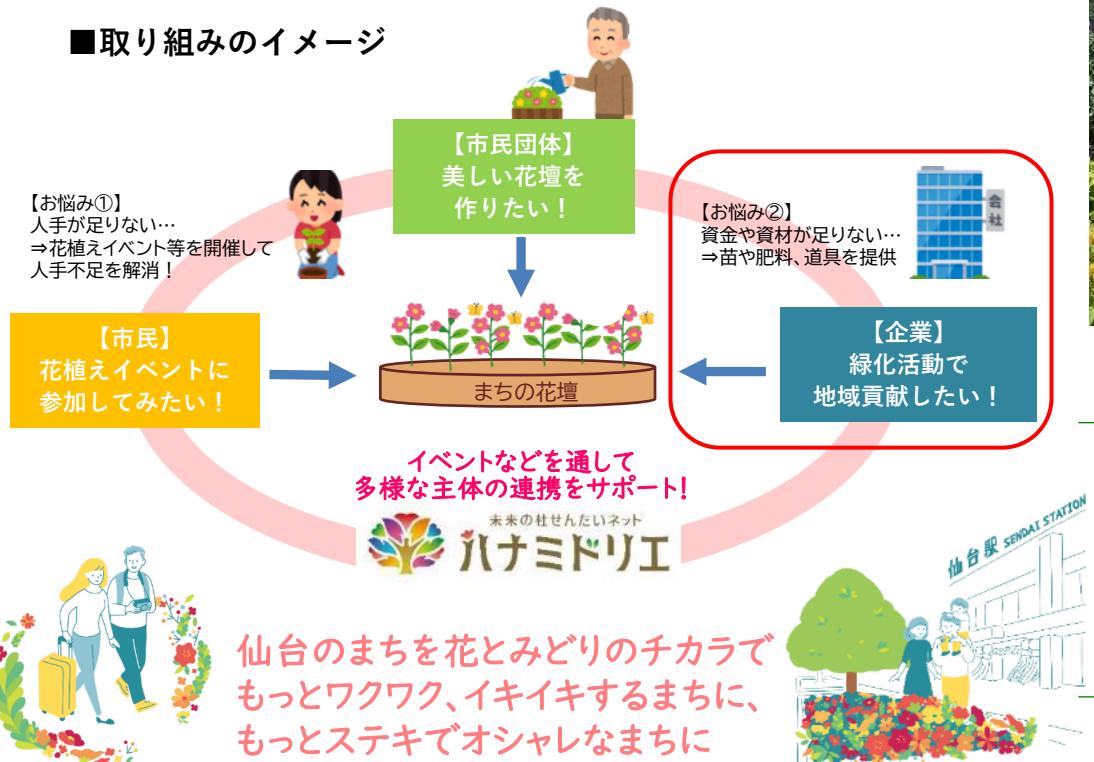


令和5年に開催した第40回全国都市緑化仙台フェアでは、115万人を超える方々にご来場いただき、仙台のまちを花とみどりで彩るために、多くの市民の皆さまにボランティアとしてご参加いただくとともに、市民団体や企業などにもご参画いただきました。フェアを通じて育まれた緑化意識や人ととのつながりはまさにレガシーと呼べるものであり、この機運を未来に引き継いでいくため、緑化フェアのレガシー事業として令和6年9月に未来の杜せんたいネット「ハナミドリ工」事業がスタートしました。



ハナミドリ工は、
花とみどりで、人と人、人とまちがつながる
花とみどりのネットワーク・プロジェクトです。

■取り組みのイメージ



緑化活動をしたい個人や市民団体、緑化活動を通じて地域貢献をしたい企業などを、緑化イベントなどを通じてマッチングさせ、ネットワークを強化することで、本市が掲げる「百年の杜づくり」を推進します。



市民団体による花壇づくり活動の様子



市民や企業が参加する花植えイベントの様子

企業の皆様へのメッセージ

このプロジェクトは、個人、市民団体、企業など、さまざまなレベルで参加できるのが特徴です。

ハナミドリ工の“リエ”はフランス語でつなぐという意味。花とみどりがたくさんのつながりを生み出します。

ぜひ、花とみどりのチカラで、仙台のまちを彩る取り組みと一緒に始めてみませんか。



文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

“伊達”な文化をはじめとした歴史・風土を礎として、官民一体となって、仙台市ならではの多彩な文化芸術活動を展開しています。



伊達家も振興に力を注いだ能楽の普及
に向けた取り組み

左：能公演「仙臺能」
右：子どものための能講座



次代を担う子どもたちの豊かな感性を育む事業
左：学校や保育所等にアーティストを派遣する
アウトリーチ事業
右：仙台フィルの楽団員が指導する
「ジュニアオーケストラ」の運営



仙台クラシックフェスティバル
低額な入場料・多彩なプログラム・短い公演時間をコンセプトに、誰もが気軽にクラシックの名曲を楽しめる音楽フェスティバル



文化芸術による社会包摂の取組み
上：障害のある人もない人も
一緒に楽しめるコンサート
「リラックス・パフォーマンス」
下：社会包摂に係る取組みへの助成
※写真はR6年度採択事業：
手話通訳がいるダンスワーク
ショップ



仙台国際音楽コンクール
3年ごとに開催するピアノとヴァイオリンのコンクール。
仙台をキャリアの出発点として世界へはばたく若手音楽家
を支援

企業の皆様へのメッセージ

年齢、心身の特性、社会的文化的背景等に関わらず、誰もが文化芸術に親しめる機会の充実を図るとともに、文化芸術の持つ多様な力を、教育・福祉・観光等の様々な側面に活かし、広くまちの活力向上につなげます。



ダイバーシティ推進事業

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

- 仙台は、全国に先駆けたバリアフリーまちづくりや、多様な主体の参画による防災・減災の取り組みなど、多様性を尊重したまちづくりを進めてきました。
- 人口減少や外国人住民の増加など、まちに集う人々の多様性が増す中、誰もが安心して住み続け活躍できるまちを目指し「仙台らしいダイバーシティまちづくり」を推進しています。



外国人住民増加に向けた調査や実証事業

外国人住民の増加が見込まれることを踏まえ、生活上の困りごとなどの調査を行うとともに、外国人転入シーズンに合わせた実証事業などの取り組みを進めています。



ジェンダードイノベーションの推進

性別や年齢など多様な視点を製品・サービスに組み入れ、新たな価値を創出していくジェンダードイノベーションについて、ワークショップなどを通じて市内に広げていきます。

企業の皆様へのメッセージ

多様な人々のもつ知識や経験、価値観を掛け合わせることにより新たな発想やイノベーションを生み出し、まちの力に変えていきます。